



風景は絵画をはじめ、さまざまなジャンルで好んで用いられてきた主題です。それだけに、私たちにとってなじみ深いものであるとも言えます。日々目にする自然、街並み、人々の営み、旅行先で見た美しい景色など、目の前に広がる眺めに私たちの主観や関心、時代性などが結び付いて、それぞれの心の内にそれぞれの風景が描かれます。本展のタイトルである「透かし見る」という言葉には、文字通りガラスを「透かして見る」と同時に、「よく見えないものを目を凝らして見る」という意味があります。石川県能登島ガラス美術館のコレクション作品を通して、ガラスの向こう側に透けて見えるもの、作家の心に描かれたものを見つめます。

【展覧会名】 テーマ展 「透かし見る—ガラスの風景」

【会 期】 平成 30 年 11 月 10 日(土)～平成 31 年 3 月 31 日(日)

※休館日：11月20日(火)、12月18日(火)、12月29日(火)～平成31年1月1日(火)

1月15日(火)、1月21日(月)～1月25日(金)

開館時間 9:00～17:00(12月～3月は16:30まで) 入館は閉館時間の30分前まで

※企画展会期中に展示替えを行います。

【会 場】 石川県能登島ガラス美術館 展示室 A、B、C、D

【作品点数】 点

【入 館 料】 高校生以上/個人 800円(20名以上の団体700円)、中学生以下 無料

【主 催】 石川県能登島ガラス美術館(公益財団法人七尾美術財団)

【お問合せ】 石川県能登島ガラス美術館

本展担当学芸員：米田晴子

〒926-0211 石川県七尾市能登島向田町125-10

TEL:0767-84-1175 FAX:0767-84-1129

E-mail: yoneda@nanao-af.jp(米田)

■展覧会構成

風景表現をテーマに、4 セクションで当館のコレクション作品を展覧します。

Section 1 (展示室 A): 「大地と天空」 マクロ視点で捉える世界と風景(現代ガラス)

Section 2 (展示室 D): 「日常、時間、自然」 日常視点で見る風景(現代ガラス)

Section 3 (展示室 B): 「装飾としての風景文様」 装飾題材としての風景(中国清朝ガラス)

Section 4 (展示室 C): 「20 世紀美術の縮図」 巨匠のデザインによるガラス造形(コスタンチーニ、ダリ&ドーム社)

■会期中のイベント

わくわくワークショップ 冬はガラ美でほっこり！ ガラス彫刻体験

電動ルーターで絵柄を彫刻してオリジナルのガラスを作ります。

【日時】12月～2月の毎土日 土曜日 13:30～15:30、日曜日 10:00～12:00

12月24日(月・振休)、2019年1月14日(月・祝)、2月11日(月・祝) 10:00～12:00

【会場】会議室 【対象】子どもから大人までどなたでも 【参加費】500円(高校生以上は別途入館料必要)

【申込】不要 直接会場へお越しください

絵本の時間～絵本で感じる作品世界～

絵本の読みがたりの後、学芸員といっしょに展覧会を見に行きます。

【日時】11月24日(土)、3月21日(木・祝) 各日 14:00～(約40分) 【会場】多目的ラウンジ、展覧会場

【対象】子どもから大人までどなたでも 【参加費】無料(高校生以上は別途入館料必要)

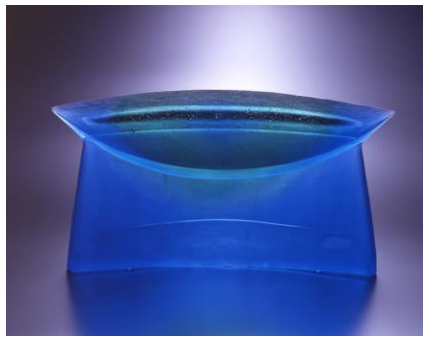
【申込】不要 直接会場へお越しください ※詳細は美術館 HP でお知らせします

■広報用画像



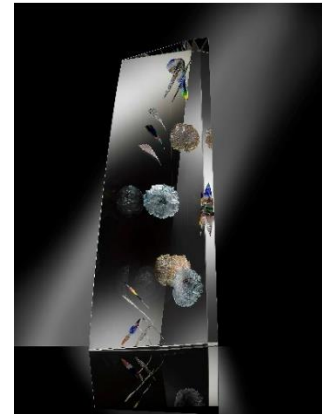
1 「沈黙」

武永和茂 2001年



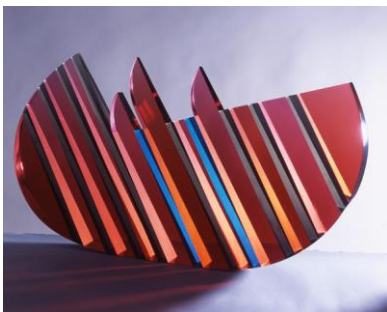
2 「月光と地平線の軌跡」

岸厚男 2001年



3 「Exoplanète 2」

ヤン・ゾリチャック 2016年



4 「時の舟」

パヴェル・フラヴァ 1998年



5 「ひそやかに」

南佳織 2000年

画像 1～6 を広報用にご提供いたします。

ご希望の方は下記をお読みの上、美術館担当者までお申し込みください。

担当：米田 (Email: yoneda@nanao-af.jp)

<使用条件>

- ・広報用画像の掲載時には各画像のキャプションおよびクレジットを明記してください。
- ・トリミング、画像への文字乗せはご遠慮ください。
- ・情報確認のため、校正紙を当館までお送りください。

以上、ご理解、ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。